

内閣府から

『地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」』の表彰を受けました

当行の地方創生に対する取組みが、内閣府から、平成29年度『地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」』として表彰されましたのでお知らせします。

地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」は、全国の金融機関等の地方創生に資する取組みのうち、地方公共団体と連携している事例や、先駆性のある事例などを表彰しているものです。平成29年度は、当行の取組みを含めた37の事例が選定され、その内容は、まち・ひと・しごと創生本部事務局のホームページで公表されております。

まち・ひと・しごと創生本部事務局のホームページ

https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/pdf/1802_research_kinyu3.pdf

(当行は、17ページ・18ページに掲載されております。)

1. 十六銀行の取組内容

(1) テーマ

産学金連携による逆見本市型ビジネス商談会を通じた地域資源の発掘・販路開拓支援

(2) 内容

当行が従来からものづくり事業者を中心に実施している逆見本市型商談会（「サプライヤー探索サービス」）の対象を食品や流通事業者に広げ、商談会を通じて地域性の高い商材を発掘し、高速道路のサービスエリアを利用する消費者への販路を開拓する機会を創出したものです。

また、単に商談会を設定するのみではなく、商談会参加事業者への事前フォローとして、大学生と事業者とのワークショップを開催し、若者の意見を取り入れて商品の企画や提案方法をブラッシュアップする場を設けました。

2. 表彰式の概要

(1) 開催日時 平成30年2月22日（木）午後1時

(2) 場所 東海財務局（名古屋市中区三の丸3-3-1）

(3) 参加者 内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官補 川上 尚貴 氏
十六銀行 頭取 村瀬 幸雄 他

<表彰式の様子>



左側 2 番目から、頭取 村瀬、東海財務局 局長 寺田氏、
まち・ひと・しごと創生本部事務局 地方創生総括官補 川上氏

以 上